

## ※初日燦<sup>さん</sup>として統計の年と計り※

1965年の夜明け初日おごそかに輝きわたり大いなる希望の年となる。

この年は統計界にとつて5年ごとの当り年センサスの年となる。年の初め早々中間農業センサスが2月1日に行われる。すでに県、市町村の段階を経て準備は成り調査を待つばかり、日本の農家のすべてについてその実態を調べ、わが国の農業の実態を明らかにして農業諸施策および農業に関して行なう諸統計調査に必要な基礎資料を整備するために行なわれる。また10月1日には伝統の国勢調査が行なわれる。大正9年以来5年ごとに行なわれ10回目に当りおなじみの調査である。

## ※正月と想うめでたき初日の出※

### 初日の光

いつも毎朝見馴れてきた日の出であつて特に変りのない風景であるが、これが元日ともなると身心が、周囲が、生活環境がすべて正月らしくなつて、昨日の今日ではあるが、なんとなくすがすがしく感じられ新しい年になつたんだという実感になつて、昨年(昨日)が遠い彼方の出来事であつたように思われてくる。

日の出も、初日だと思つて初日らしく神々しく、大いなる希望に満ちた新春の陽光を惜しみなく浴びながら、新しい年に対する決意が満ち溢れてくるのを感じるのである。

## ※元旦の決意はいつも今年こそ※

### 「一年の計は元旦にあり」

元日ともなれば、いつも今年こそはの決意を固める。今年こそは何んとかしよう。何んとかなるだろう、何んとかと心に誓つて新しい気分ですスタートするわけだが、松の内も過ぎ正月の気分が薄らいでくると、いつもの平凡な日常生活にもどつて元旦にかけた決意もどこかへふつとんでしまう。誠に困つたものであると思つたが、世の中はそう自分の思うように甘くはない。が社会人として自分の職責を立派に果して行くことによりこの決意も果たされてくるのではないかと考えられる。

今年も統計も2月1日の中間農業センサス、10月1日

の国勢調査の二大センサスが行なわれる。平常の業務以外に二大センサスの加入で多忙な年となる統計マンの決意を望む次第。

## ※地球自転して正月を持つてくる※

地球が365.2422日かかつて太陽のまわりを1周すると年改まり正月が訪れる。この1周の間に四季が訪れて花を咲かせ、炎暑をもたらし、木の葉を散らし、雪で飾つて日本を美しく彩る。こんな現象をくりかえしながら幾星霜、歴史をぬりかえ、災害を与え人間の喜怒哀楽をのみこんで現代へと続いている。

大自然の中の地球上の出来事などなんとチツボケなことか、人はそれらの出来事に左右され生活にしがみついて生きていかなければならない。

また、地球の自然方式に従つて新しい年が訪れた。ともあれめでたいことである。ほんとうは何んでめでたいかもわからないが。

## ※蘇<sup>とそ</sup>きげん調子つ外れの唄もよし※

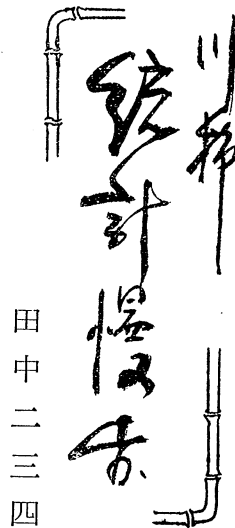
正月はおめでたい。上戸党にとつては正月が毎日あつてもいいといわれるほど良き日々なり、おめでとうと言つてまわれればお酒が出る酔つても正月だからと大目にみてもらえるし、妻にもあまりうるさく叱言もいられない。本当によいと思う。仲間同志が集まつて酌みかわす新年の酒もまた楽しいである。飲むほどに酔うほどに議論百出、がぜん座が賑やかになころお得意のノドをきかされる。調子つ外れの唄もまた大いに愛すべきである。

## ※成人の祝大人になつた顔※

1月15日成人式、昔ならば男子はこの年になると待望の徴兵検査の年である。平和な時代の若者たちは、祝福のうちに成人式を迎える。

成人式、この日3万4千余人の若者たちは大人の仲間入りをする。社会人として今後の活躍を期待される。そして待望の選挙権を獲得する。来るべき参院選がその初行使となる。女子のきらびやかな訪問着は一式最低5万円はかかり親達をなげかせる。

若者たちの輝やく前途を祝し、その健斗を祈る。



田中二三四

(7)

# 統計の芸術

## 市町村統計主管課長会議開催

来る2月19日午前10時から水戸市田見小路国保会館で開かれます。万障繰合せご出席下さるようお願いいたします。

- 議題は
- 1 39年度統計調査事業の遂行について
  - 2 40年度統計調査関係事業について
  - 3 その他

## 全国都道府県統計主管課長会議開かれる

来る2月1日～6日全国都道府県課長が参集、都道府県会館で開かれます。この会議は行政管理庁主催で行なわれ主として40年度予算、職員の業務研修、公務災害問題、調査員の手当等の問題が審議される予定。

## 関東甲信静ブロック統計主管課長会議

去る1月27日～30日行政管理庁主催による上記が山梨県甲府市湯村で開かれ、本県からも竹内統計課長等が出席されました。山梨県統計課長、後藤基準局長の挨拶後提出議案について討議した。主たる議案は40年予算とそれに関連した調査員手当引上のこと。国調関係予算、統計職員定数、市町村統計機構の整備、その他各都道府県提出議案等について審議された。

## 「統計茨城」141号を数える

本県唯一の統計月刊誌として皆様にご利用されている「統計茨城」も昭和9年10月創刊以来すでに本号で141号となりました。途中休刊した時代もありましたがお蔭で利用者も益々増えている状況です。

そこで今後一層発展のため、皆様から本誌についてのご意見、ご希望など、また統計に関する記事などご投稿下さるよう、年の始めにあたりお願いいたします。

## 第16回茨城県統計図表コンクール 作品募集

県・教育委員会・統計協会の共催による第16回茨城県統計図表コンクール作品募集要領が発表されました。このコンクールは、全国統計図表コンクールの県予選を兼ねることとし、上位入選作品のうちから所定の作品を全統連に推薦することにいたしました。

今回の募集要項によると、児童・生徒に対する指導者の指導上の注意が特に要領に入れられた。この事業の目

的からいつて、資料の取り扱い方の助言は差支えないとしているが、表現（図表化）の段階では子供の自主性を尊重することになっている。したがって審査もこの点を重視することになる。

なお審査基準は、資料（適正な選択と加工）が50点、図表化の表現技術が50点となった。

締め切り期日は、昭和40年度の全国統計大会が7月20日から21日まで横浜市で開催が決定しているため、今回の募集期日を5月25日にしたので特にご注意を願います。

## 第16回茨城県統計図表コンクール作品募集 要領の概要

- 1 主 催 茨城県・県教育委員会・県統計協会
- 2 目 的 県民に対する統計思想普及向上と統計の表現技術の研さん及び統計教育の推進を図る。
- 3 応募資格  
第1部 小学校の児童（1年～3年）  
第2部 “ ” （4年～6年）  
第3部 中学校の生徒  
第4部 高等学校の生徒  
第5部 一 般
- 4 課 題  
第1部・第2部共通  
「児童が観察した結果を図表化したもの」  
第3部  
「既存統計の利用または生徒が観察した結果を図表化したもの」。  
第4部・第5部の課題は自由とする。
- 5 材料規格  
第1部・第2部・第3部の用紙は72.8cm×51.5cm  
第4部・第5部の用紙は103cm×72.8cm  
ただし、各部とも紙質・色彩（単色可）自由
- 6 送 り 先  
茨城県企画開発部統計課（水戸市北三ノ丸）
- 7 締 切 日 昭和40年5月25日
- 8 応募上の注意  
1 応募作品の裏面に住所・氏名・性別・職業・年齢（児童生徒は学校名学年）明記すること。  
住所氏名学校名はふりがなをつけること。  
2 各部とも統計表を添付すること。自己の観察によらず他からの資料は出所名記。

応募希望の方で詳細を知りたい方は要項を用意してありますから、お知らせ下さい。

☆近着統計資料案内☆

<不 定 期 刊 行 物>

資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者	資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者
<b>社会・労働</b>			<b>通 産 統 計</b>	40年1月	通産大臣官房調査部
郵政統計年報(為替貯金)	38年度	郵 政 省	主 要 経 済 指 標	〃	〃
科学技術研究調査結果速報	39年	総 理 府 統 計 局	<b>各 都 道 府 県</b>		
国際統計要覧	39年	〃	衛 生 統 計 年 報	38年	鳥 取 県 厚 生 部
労働力調査特別調査報告	38年10月	〃	工業統計調査結果報告	38年	静 岡 県
建築統計年報	38年	建 設 省	県 民 生 活 白 書	38年版	〃
事業所統計調査報告(埼玉)	38年	総 理 府 統 計 局	山 形 県 工 業 の 実 態	38年	山 形 県 統 計 課
〃(富山)	〃	〃	農 業 基 本 調 査 結 果 概 要	〃	奈 良 県 調 査 課
〃(島根)	〃	〃	〃	〃	千 葉 県 統 計 課
郵政統計年報(郵便編)	38年度	郵 政 省	工業統計調査結果報告書	38年	長 崎 県 統 計 課
国民健康保険事業月報	40年 1・2月	厚 生 省 保 険 局	大 阪 府 総 生 産 額 表	35年	大 阪 府 統 計 課
科学技術庁月報	40年1月	科 学 技 術 庁	農 業 基 本 調 査 結 果 報 告 書	38年	長 野 県 統 計 課
労働統計調査月報	〃	勞 働 大 臣 官 房 統 計 調 査 部	東 京 都 個 人 経 済 力 調 査 報 告	38年	東 京 都
<b>教育・文化</b>			東 京 営 林 局 事 業 統 計 書	39年	東 京 営 林 局
文 部 統 計 速 報	39年度	文 部 省	県 民 所 得 推 計 報 告	37年	埼 玉 県
学校保健統計調査速報	39年度	〃	福 井 県 工 業 統 計 表	38年	福 井 県
教育統計	40年1月	〃	北 海 道 市 町 村 勢 要 覧	39年刊	北 海 道 統 計 課
世界の動き	40年1月	外務省情報文化局	工業統計調査結果報告書	38年	神 奈 川 県
<b>産 業</b>			東 京 都 統 計 年 鑑	〃	東 京 都
工業統計速報	38年	通産大臣官房調査統計部	熊 本 県	〃	熊 本 県
工業統計表(産業編)	37年	〃	〃 県 勢 要 覧	〃	〃
〃(品目編)	〃	〃	岩 手 県	〃	岩 手 県
鉱工業指数年報	39年	〃	京 都 府 統 計 書	37年	京 都 府
第3次漁業センサス市町村別統計(1~9)		農 林 省 農 林 経 済 局 統 計 調 査 部	横 浜 市 勢 統 計 要 覧	38年	横 浜 市
製材工場統計調査結果	39年	農 林 省 茨 城 統 計 事 務 所	県 勢 要 覧	39年版	佐 賀 県
らつかせい推定実収高調査	39年産	〃	大 阪 市 勢 要 覧	〃	大 阪 市
漁業養殖業生産統計年報	38年	農 林 省 農 林 経 済 局 統 計 調 査 部	福 岡 県 勢 要 覧	〃	福 岡 県
茨城県養蚕年報	38年	農 林 省 茨 城 統 計 調 査 事 務 所	主 要 物 資 流 通 調 査 報 告 書	37年	高 知 県
農林水産統計月報	40年1月	農 林 省 農 林 経 済 局 統 計 調 査 部	第3次漁業センサス概要	39年10月	静 岡 県
<b>経済・財政</b>			横 浜 市 統 計 書	39年版	横 浜 市
経 済 白 書	39年度	経 済 企 画 庁	し ま ね	〃	島 根 県
法人企業投資実績統計調査報告	38年度	〃	グ ラ フ し ず お か	38年	静 岡 県
機械工業設備調査報告	38年度	通産大臣官房調査統計部	<b>茨 城 県</b>		
法人企業投資予測統計調査報告	39年下	経 済 企 画 庁 調 査 課 査 査 局	国民健康保険事業状況	38年	県 国民健康保険課
個人企業経済調査季報		総 理 府 統 計 局	県 人 事 統 計 年 報	39年度	県 総 務 課
農家の租税公課諸負担統計	37年	農 林 省 農 林 経 済 局 統 計 調 査 部	市 町 村 財 政 実 態 資 料	38年度	県 地 方 課

## 人間雑話 (27)

茨城大学教授 塚本勝義



佐田の山は豊山を突き出して優勝が決まった瞬間、涙が溢れてしかたなかつたようだ。もちろんテレビで見ていた光景だが羨しく感じられた。自分の仕事がうまく行ったとき涙が出るほど力を入れられるのは男の本懐だろう。感激のこみ上げてくる人生はありがたい。小粒の不平等、いびつな世迷言しか吹き出さぬ人生はあまりにも散文的だ。

○ ○ ○ ○

万事にわたつて、あてにすることはまずい。愚かな人は、あてにし過ぎるから怨んだり怒つたりすることがあるのが、勢力があるからといつてあてにしてはいけない。勢力のある者が先ず亡びる。財産が多いからといつてあてにしてはいけない。忽ちにして倒産する。手腕があるからといつてあてにしてはいけない。孔子ほどの人物だつて満足するポストにありつけなかつた——と兼好法師が教えている。これは中世の人々への忠告だが現代人にもびつたりしている。われわれも、あてにしすぎると、落胆もするし憤激もして血圧をあげ易い。あの男が大臣になつた。今度こそ俺も浮かべるぞ——とあてにするから、「しばらく待つてくれ。」なんて言われると腹が立つ。あいつは思知らずだなんて陰口をたたくから、電波もある世の中、大臣さまのお気持ちを悪くして、浮かぶどころか逆に沈んでしまう、あてにするから、あてがはずれるというみじめな事態も発生する。あてにしなければあてのはずれる心配がない。気が楽だ。だれが大臣をやめようと、社長をやめようと、こつちは自己のペースで悠々とやつて行ける。いわゆる職を楽しむきれいな人間になれる。

○ ○ ○ ○

終戦後、亭主関白がやたらに攻撃された。その結果だろうか、恐妻族といつた新種もできたらしい。換言すれば女房関白の台頭ということになる。これで家庭が民主化されたと思つてる人間があるが、たしかに頭が弱過ぎる。単に被害者が交替しただけの話だ。被害者がなくなつたというなら進歩だろう。しかし、50パーセントの被害者が実存する以上断じて進歩したのではない。先へ出たのでなくつて、同じ所をぐるぐる廻りしているだけのこと。人間関連の改善を10年や20年の短時間で実現しようという考えが、そもそも甘すぎる。能率があがつても50年はかかるはず。人間の歴史がこの事実を証明してい

る。明治の人間がびんびんしている以上、明治の人間関連を完全に変更することは難しい。

○ ○ ○ ○

しかし、もう一步突き込んで、なぜ亭主関白や、かかあ天下が発生するかを確かめる必要がある。結局は力がそうさせるのだ。力学的必然の現象だ。決して封建的なんて言われる悪習でない。それは子供世界に餓鬼大將が発生するのと同じである。力の差は如何ともすることができない。亭主関白だろうと、かかあ天下だろうと、夫妻勢力五分五分で、果しなき戦いの続く夫婦だろうと、それで家庭という社会がうまく回転し、一日一日発展するなら申し分がないはずだ。力量十分なのに腕をふるわず、力もないくせにへつぶり腰でがん張つてみたところで、家庭の発展を期待することはできぬ。

人間尊重とは人間のすべてを尊重することだ。必然的に人間の力も尊重しなければなるまい。くりかえすようだが、亭主関白だろうが、かかあ天下だろうが、家族がみんな揃つて幸福になればいい。人間生活にとつて大切なことは〔形式〕でなくて内容だ。

○ ○ ○ ○

水戸市内の某高校生徒が、高校生活はくだらんという生徒が多くて困るが、どんな御意見ですかと、録音器をぶらさげて筆者宅にやつてきた。私は嬉しくてたまらなかつた。若い人間が自己の生活に疑いを持つのは頼もしい限りだ。

疑いこそは前進のエネルギーだからだ。疑いのない者は超うぬぼれか足りない人間とみていいだろう。まともに生きてる人間なら、好調不調を問わずに自己の存在、自己の仕事、自己の人生に疑いを持つにきまつている。

私は高校生諸君に言つた。みんなが懐疑的になるのは困つたことなんかでない。現状に満足できぬ積極的意欲がある証拠なんだ。だから疑いに負けてはいけない。疑いに真正面から切り込んで、疑いの克服に全力を尽くす方がいい。ひとつの疑いが解ければ、きつと次の疑いが発生する。その疑いをも克服したら、第三の疑いが発生するに決まつてる。そしたら、また克服して先に出ることだ。これが人生を本当に生きることなんだ——と言つた。三人の高校生は妙な顔をして、とにかく大きくなるづいた。